

群馬県歯科衛生士会
会員各位

(公社) 群馬県歯科医師会
会長 村山 利之
担当理事 久保田 順



子ども虐待防止講演会開催のご案内

晩冬の候、衛生士の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。また、平素より当会の事業運営にご理解とご協力を賜りまして厚くお礼申し上げます。

さて、昨年に続き、「子ども虐待防止講演会」を開催させて頂く運びとなりました。今年度は、福井大学子どものこころの発達研究センター発達支援研究部門教授 友田 明美 先生にご講演頂きます。この講演会の目的としまして、虐待への知識を深めて頂き、虐待の防止や早期発見に歯科医療業界として協力していくこととあります。今回は特に、子育て中の皆様に拝聴頂きますと、大変に有意義な内容となっております。開催方法は、子育て中の皆様が参加し易い講演会にするため、Zoom ウェビナーを使用して開催致します。

衛生士皆様の多くのご参加をお待ち申し上げます

記

日時：令和7年3月16日（日）午前10時00分～

開催場所：Zoom ウェビナー（サテライト会場として群馬県歯科医師会館4階第2会議室）

対象：歯科医師（会員、会員外の先生方も含む）

歯科衛生士、医院スタッフ、ご家族など

講師：友田 明美 先生（福井大学子どものこころの発達研究センター発達支援研究部門 教授）

内容：子ども虐待防止講演会

「子どもの脳を傷つけない子育て

～マルチリトメントによる脳への影響と回復へのアプローチ～

申込方法：下記のQRコードまたはURLよりお申込み下さい。

【参加申込フォーム】締め切りは令和7年3月7日（金）まで

QRコード：



URL：<https://forms.gle/y1Trq7ewM6Znsta69>

※ 令和7年3月10日（月）に参加者の方へZoom招待メールをお送りします。

※ 会場参加をご希望の場合はサテライト会場の会館4階第2会議室へ直接お越しください。

令和6年度 子ども虐待防止講演会

「子どもの脳を傷つけない子育て

～マルトリートメントによる脳への影響と回復へのアプローチ～

＜講師 友田 明美先生＞

福井大学子どものこころの発達研究センター発達支援研究部門 教授
福井大学医学部附属病院 子どものこころ診療部長(兼任)
自然科学研究機構 生理学研究所 客員教授(兼任)
大阪大学大学院 連合小児発達学研究科福井校 教授(兼任)
大阪大学大学院 医学研究科 招聘教授(兼任)



■内容

近年、「チャイルド・マルトリートメント」という概念が広まっている。これは虐待とほぼ同義であるが、子どもの心と身体の健全な成長・発達を妨げる養育すべてを指し、WHOによれば身体的虐待、性的虐待だけでなく、ネグレクトや心理的虐待も含まれる。子どもの育ちは、遺伝だけでなく環境要因も大きく関係がある。子どもの経験からどんどん良いほうにも悪いほうにも変わっていく。マルトリートメント(以下、マルトリ)を経験することによって定型発達の子が非定型発達の子になることがわかってきている。また逆に、マルトリをなくすと非定型発達の子が定型発達の子に戻るということもわかっている。マルトリは、こころや脳に深刻な影響を及ぼし、成人後も多くの精神疾患や自殺のリスクを高めるため、マルトリの予防と早期介入・支援が喫緊の課題である。マルトリを防ぐためには、養育者が危機的状況に陥る前に、彼らの健康や育児、経済的なリスクを早期に把握し、支援することが不可欠である。

演者は子ども虐待を防止するために、脳科学の知見に基づき「マルトリ(マルトリートメントの略)」を予防していくことを目指してきた。「マルトリ」はどの家庭でも起こり得る「大人から子どもへの避けたいかわり」と定義し、「マルトリ」を防ぐために、全国自治体の子育て支援者のみならず一般市民が「マルトリ」を理解し、親だけでなく地域や社会が子育てを支援していく「とも育て®(きょうどう子育て)」を普及させることで、安全な暮らしを構築することに取り組んでいる。

「マルトリ予防®」と「とも育て®」に関する支援者向けの無料の啓発資材・動画教材は、マルトリ予防®啓発Webサイト marutori.jp から無料でダウンロードできる。皆様にもぜひ活用していただきたい。

■ご経歴

1987年 熊本大学医学部医学科卒業
1992年 熊本大学医学部附属病院発達小児科 助教
2003～2005年 文部科学省在外研究員(米マサチューセッツ州マクリーン病院発達生物学的精神科学研究プログラム)、ハーバード大学医学部精神科学教室客員助教授
2006～2011年 熊本大学大学院医学薬学研究部小児発達社会学分野 准教授
2011年～現在 福井大学子どものこころの発達研究センター 教授
2009～2011年および2017～2019年 日米科学技術協力事業「脳研究」分野グループ共同研究 日本側代表

■主な著書

「最新脳研究でわかった 子どもの脳を傷つける親がやっていること」SB新書 2024年
「親の脳を癒やせば子どもの脳は変わる」NHK出版 2019年
「実は危ない！その育児が子どもの脳を変形させる」PHP研究所 2019年
「脳を傷つけない子育て」河出書房新社 2019年
「虐待が脳を変える—脳科学者からのメッセージ」新曜社 2018年
「子どもの脳を傷つける親たち」NHK出版 2017年
「新版 いやされない傷—児童虐待と傷ついていく脳」診断と治療社 2012年

